国家戦略特区における近未来技術実証

資料2

自動走行

2015年１月　近未来技術実証特区検討会の開始

－ 具体的プロジェクトの公募、必要な規制改革事項の抽出（道路交通法、航空法、電波法団体など）

2015年6月「『日本再興戦略』改訂2015」　閣議決定

・**完全自動走行（レベル４）**の実現に向け、特区等において、**安全性に関するデータ収集等に必要な公道実証実験**を積極的かつ安全に行うための環境を整備。

2016年　実証実験開始

２月　**藤沢市**　買い物支援（一般モニター参加）
３月　**仙台市**　災害危険区域での実証
１１月　**仙北市**　ハンドル及びアクセルの無い車両による地域の移動支援（一般モニター参加）

2016年6月「 日本再興戦略 2016」　閣議決定

・「レベル４」までの技術開発を目指すため、車内に**運転者が不在であっても遠隔装置を通じた監視等**や、**ハンドル及びアクセルの無い自動運転車両による走行**などが、公道における実証実験として可能となるよう所要の措置を講ずる。

2016年11月～国家戦略特区諮問会議での議論

「事後チェックルール」を徹底した、
いわゆる「サンドボックス制度」の導入

－　**１１月、１２月　有識者議員提出資料**
（－　１１月　自民党　経済構造改革に関する特命委員会　中間報告:「規制ゼロのフリーゾーン特区」）
－　**１２月　（株）ＤｅＮＡ 南場会長のプレゼンを受けた総理指示**

国家戦略特区を更に一歩進め、自動走行やドローンなどの近未来技術の実証実験が、一層スムーズに、またスピーディに行えるよう、**安全性を確保しつつ、手続を抜本的に簡素化する仕組み**を直ちに検討してまいります。

2017年1月安倍総理施政方針演説

人工知能を活用した自動運転。その未来に向かって、本年、各地で実証実験が計画されています。
国家戦略特区などを活用して、自動運転の早期実用化に向けた民間の挑戦を後押しします。

３月上旬（予定）**東京都　羽田空港周辺**
－「サンドボックス特区」の実証実験の企画、
－ 区域会議における制度設計開始

５月中　（予定）**警察庁**「遠隔型の公道実証実験に対するガイドライン」を公表
（自然人による遠隔監視が前提）

今国会に提出予定の改正特区法案に規定

小型無人機（ドローン）

2015年１月　近未来技術実証特区検討会の開始

－ 具体的プロジェクトの公募、必要な規制改革事項の抽出（道路交通法、航空法、電波法団体など）

2015年6月「『日本再興戦略』改訂2015」　閣議決定

・**区域会議で意見聴取**を行い、技術実証を速やかに行うための**必要な規制・制度改革**に取り組む。
・**特定実験試験局制度**の手続の迅速化。

2016年　実証実験開始

（2015年７月　仙北市　デモンストレーション）
４月、１１月　**千葉市**　宅配の実証
７月　**仙北市**　日本初の「国際ドローン競技会」（電波法の特例を活用）

2016年6月「 日本再興戦略 2016」　閣議決定

・必要な規制改革を伴う場合を含めた**実証実験等を高い頻度**で行い、その効果を検証していく。

2016年11月～国家戦略特区諮問会議での議論

「事後チェックルール」を徹底した、
いわゆる「サンドボックス制度」の導入

－　**１１月、１２月　有識者議員提出資料**
（－　１１月　自民党　経済構造改革に関する特命委員会　中間報告:「規制ゼロのフリーゾーン特区」）
－　**１２月　（株）ＤｅＮＡ 南場会長のプレゼンを受けた総理指示**

国家戦略特区を更に一歩進め、自動走行やドローンなどの近未来技術の実証実験が、一層スムーズに、またスピーディに行えるよう、**安全性を確保しつつ、手続を抜本的に簡素化する仕組み**を直ちに検討してまいります。

2017年1月安倍総理施政方針演説

人工知能を活用した自動運転。その未来に向かって、本年、各地で実証実験が計画されています。
国家戦略特区などを活用して、自動運転の早期実用化に向けた民間の挑戦を後押しします。

４月　**千葉市**　約10ｋｍの海上を飛行予定

今国会に提出予定の改正特区法案に規定